

台風26号・伊豆大島災害に 関する対応状況について

国土交通省 関東地方整備局
平成25年10月31日

国土交通省では、甚大な被害を受けた東京都大島町を支援するため、発災当日より全国の地方整備局等から **TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)** を派遣し、二次災害防止や早期復旧のための技術支援を実施。
 <延べ約900人>



道路被災箇所調査



照明車の移動状況



監視カメラ映像



監視カメラの設置



ヘリコプターによる調査



土砂災害危険箇所の緊急点検



点検結果の記者会見



大島町での災害対策会議

大島町への支援として**延べ約900名の人員**、**照明車・衛星通信車等13台の災害対策車を派遣**。
また、土のう袋8,000枚・カラーコーン500個等の**災害対策物資を提供**。

災害対策人員

約900人・日



被災箇所の情報とりまとめ



被災箇所現地調査

災害対策車

全13台

照明車5台、衛星通信車2台、
対策本部車2台、待機支援車1台 など



照明車等



災害対策車の陸揚げ

災害対策物資

土のう袋 8,000枚
ブルーシート 1,500枚
カラーコーン 500個 など

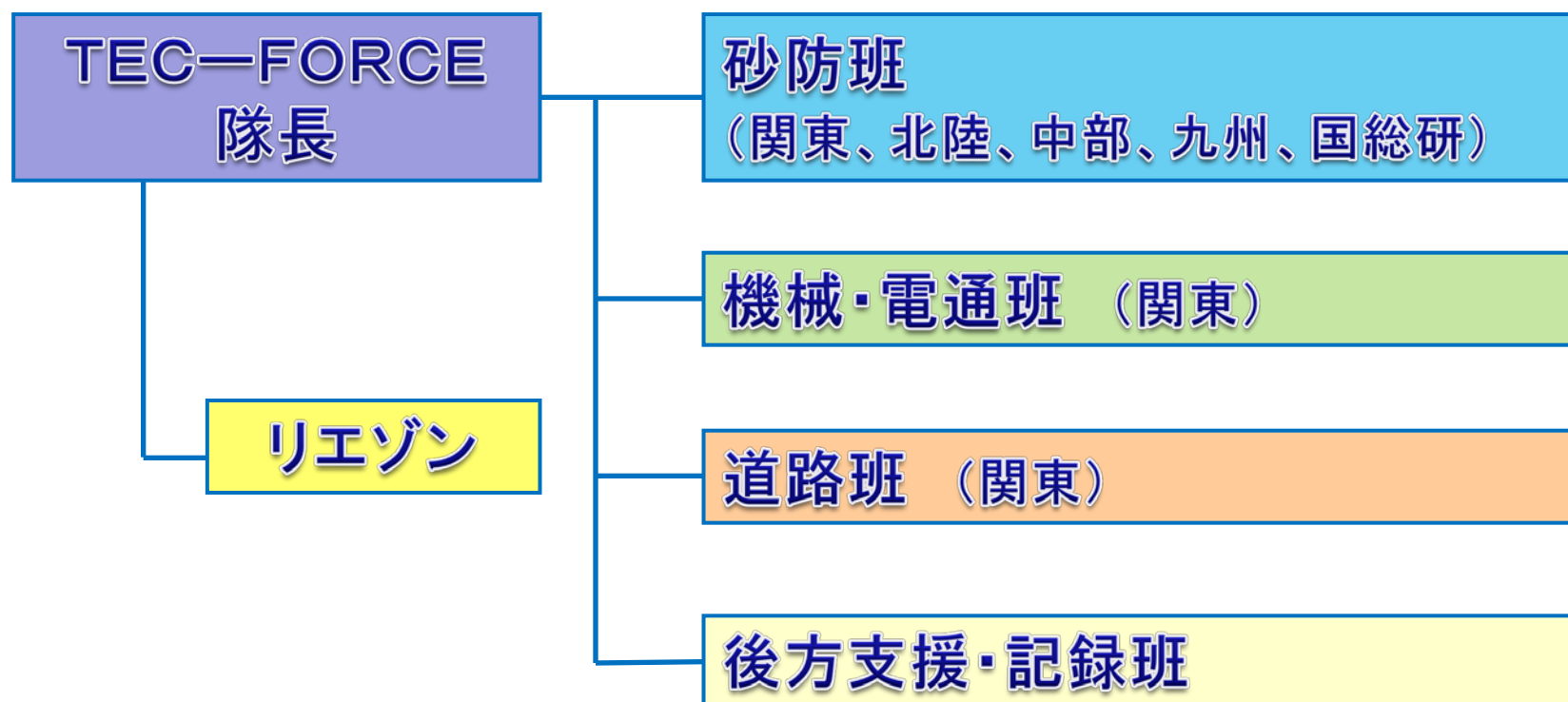


カラーコーン等の引渡し



土のう袋の引渡し

- 大島町役場に**リエゾン**(情報連絡員)を配置。
- 関東・北陸・中部・九州地方整備局や国総研等**の職員によりTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)を構成し、砂防、機械・電通、道路等の班にて、二次災害防止や早期復旧のための技術支援を実施。



- 二次災害防止のため、島内全域の**土砂災害危険箇所**を緊急点検し、調査結果を大島町に提供して記者発表を実施【砂防班】。また、**衛星通信車とカメラ**の設置を行い土石流の監視体制を構築【機械・電通班】。
- また、早期復旧に向け、被災した**道路の被害状況調査**を実施して調査結果を大島町に提供【道路班】。

砂防班



土砂災害危険箇所の調査



関係機関への報告

機械・電通班

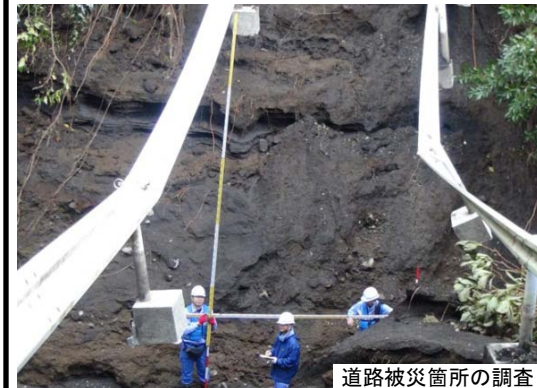


通信衛星車、Ku-SAT
による監視カメラの設置



緊急作業箇所への照明車の派遣

道路班



道路被災箇所の調査



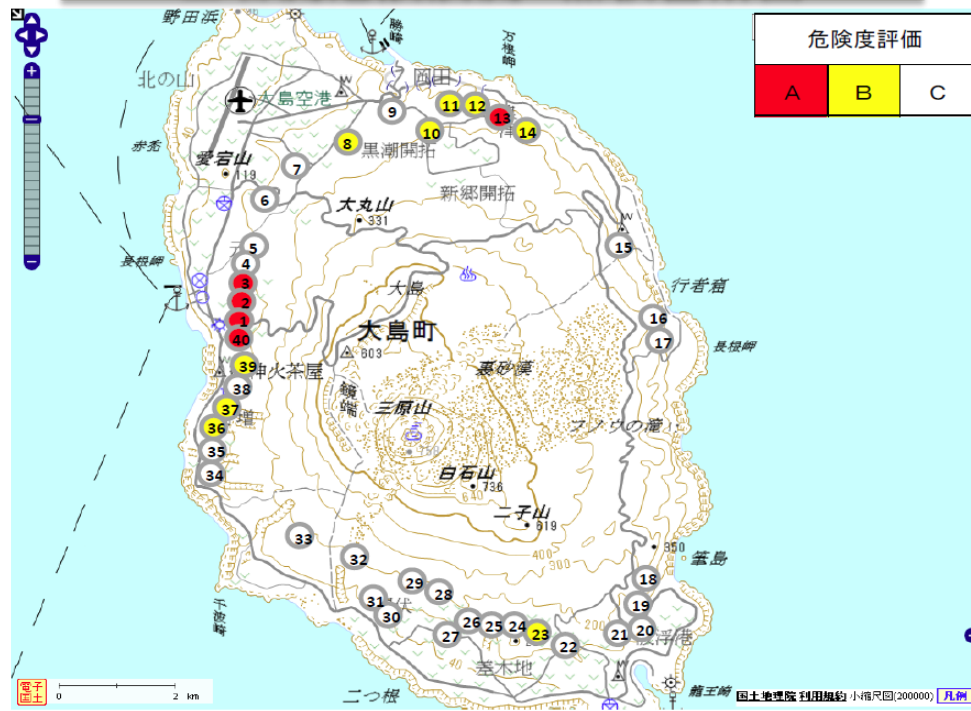
道路寸断状況の調査

大島町における土砂災害危険箇所の緊急点検結果 国土交通省

急傾斜地崩壊危険箇所 点検箇所図



土石流危険渓流 点検箇所図



【点検結果】

各箇所について点検結果、及び下記の目安に基づき『危険度』を評価しました。

- A 緊急避難体制を確保するとともに緊急的な対応が必要
- B 当面は警戒避難体制を強化するものとし、状況確認の上で、必要に応じ対応が必要
- C 特に変化はなく緊急度は低い、降雨状況によっては注意を要するもの

《急傾斜地崩壊危険箇所の点検結果》 《土石流危険渓流等の点検結果》

A: 3箇所
B: 4箇所
C: 24箇所
(計: 31箇所)

A: 5箇所
B: 9箇所
C: 26箇所
(計: 40箇所)

○伊豆大島における施設効果の発現状況

○平成25年台風26号により、伊豆大島の島内において多数の表層崩壊が発生し、土石流等の流下が確認されたが、島内に整備された砂防施設が一定の効果を発現



おおがなさわ し せんたいせきこう

大金沢支川堆積工



おおがなさわ ほん せんたいせきこう

大金沢本川堆積工



や え さわ たいせきこう

八重沢堆積工

